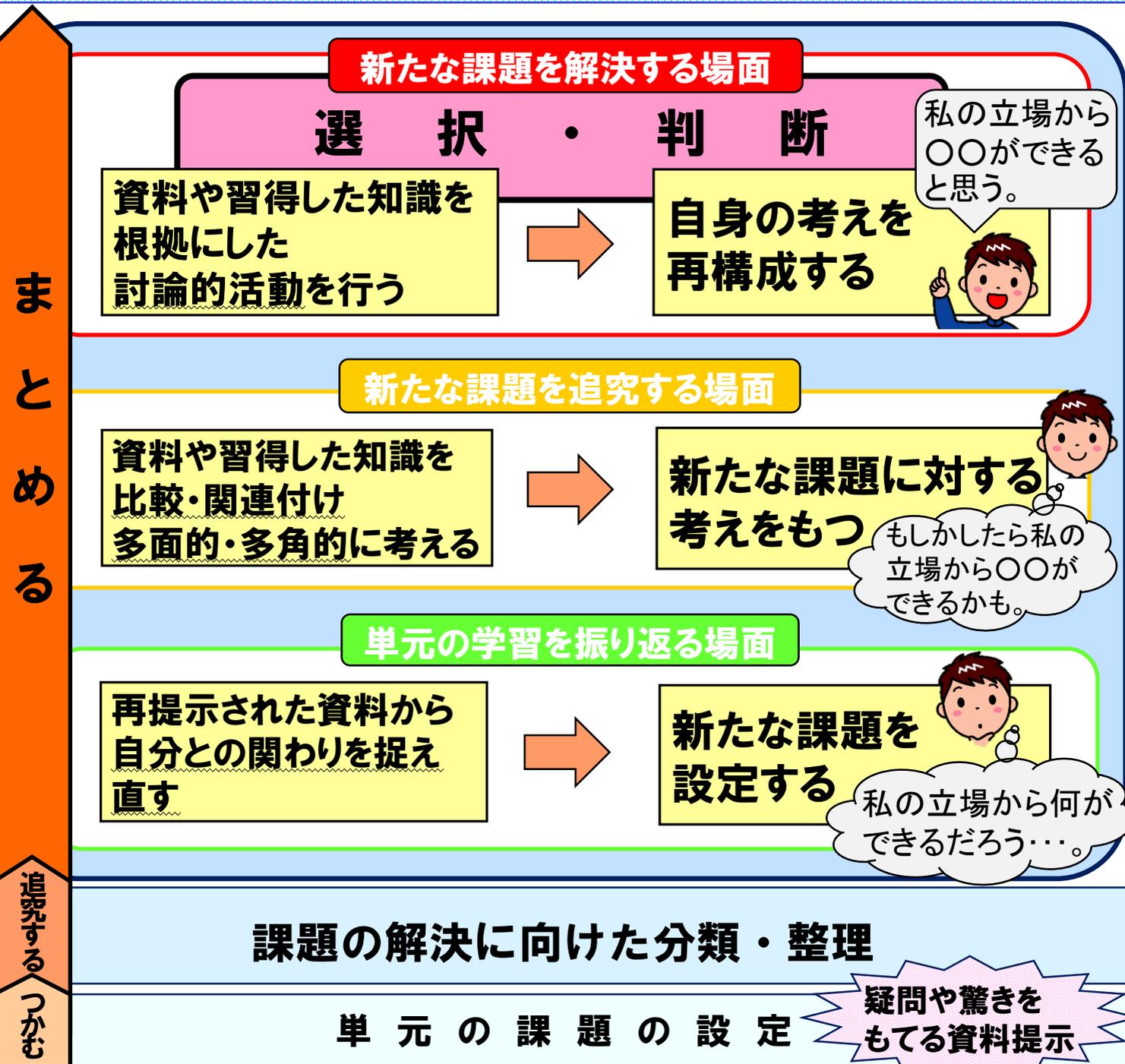


社会に見られる課題の解決に向けて  
 選択・判断する力を高める社会科指導の工夫  
 — 「まとめる過程」における  
 資料や習得した知識を根拠にした討論的活動を通して—

**研究構想図**

長期研修員 田村 嘉崇

社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断することができる生徒

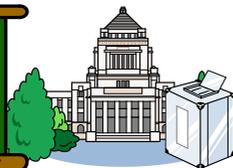


まとめる  
追究する

〈生徒の実態〉  
 ○主権者意識がもてていない。  
 ○自分で考え、判断して決めることが苦手である。

〈教師の願い〉  
 ○社会の形成に参画してほしい。  
 ○汎用性や応用性のある知識を身に付けてほしい。

実践：中学校第3学年  
「現代の民主政治」



●単元の課題  
「国民の政治参加にはどのような課題があるのだろうか」

まとめる

単元の学習を振り返る場面

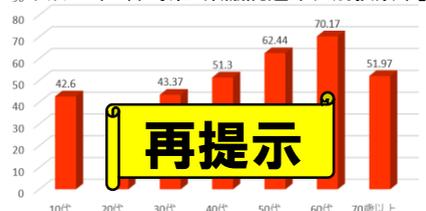


政治参加にはどのような課題がありますか。

若者の多くが政治に関心をもっていないということが分かったよ。



平成29年 群馬県 衆議院選年代別投票率



再提示

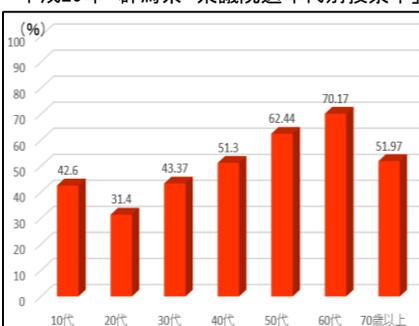
私にも政治に参加できることがないかな？



新たな課題 「これからの自分は何ができるか提案しよう」

新たな課題を追究する場面

平成29年 群馬県 衆議院選年代別投票率



比較・関連付け

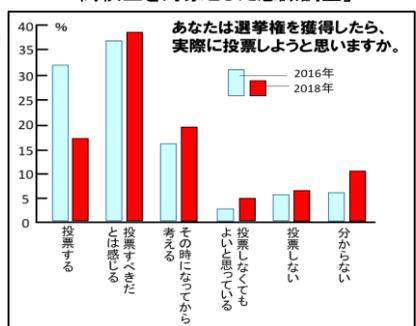
若者の投票率を上げるにはどうしたらよいのかな？



選挙に行くように家族に声を掛けよう。



「高校生を対象とした意識調査」



新たな課題を解決する場面

討論的活動（考えの再構成）

投票しやすいように期日前投票の制度があることを知らない人もいないかな。

効率と公正

着目する視点

対立と合意

実現可能性

選挙に行っても、何も変わらないって言うけれど、やっぱり自分たちの意見を伝えていくことが大切なんだよ。

政治について給食の放送を利用して、情報を発信してみてはどうか？



今回の学習を振り返ってみると、この国の未来は若者が決めていくべきだから、少しでも政治に興味をもって、みんなで考えていく必要があるね。

【社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断することができる】

〈成果○と課題●〉

- 再提示された資料から社会的事象を自分との関わりとして捉え直し、考えを再構成したことで、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力を高めることができた。
- 「まとめる過程」に選択・判断する時間を設定するために、単元構想を工夫していく必要がある。

提言

- ◎各分野において選択・判断が位置付く単元を明確にし、継続的な実践をすることで社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力がより高まります。